自分好みのデザインが選べるエモーションシリーズで足元を飾れ

Light and rigid, Casting is the well balanced!

スーパーGTや全日本ラリー、D1GPなど、様々なモータースポーツにホイールを供給。
厳しいレーシングシーンで技術を磨き上げることでノウハウを蓄積してきたワーク。
そのフラッグシップブランドともいえるのが"エモーション"シリーズなのである。

●TEXT:石川大輔　●PHOTO:宮門秀行　●DESIGN:後藤崇聴(draw.design)

ワーク
〒577-0016　大阪府東大阪市長田西4-1-13
TEL:06-6746-2859(西日本コールセンター)
http://www.work-wheels.co.jp

①PCD100の4穴モデル専用にデザインされたセンターパートは極限まで小径化することで、サイズ以上の迫力を醸し出す。ちなみにナットホイールの開口に設けられたエアスクープは放熱性を高めるためのもの。②リムエンドに設けられたリブが強度アップに貢献。またスポークには段差を付けることで、よりシャープな印象を持たせることに成功した。③リヤ用は16×6.5J+48というS660専用サイズ。フェンダー内に収めつつ、足まわりとの干渉の心配もないという絶妙な数値を特注して導き出した。純正ホイールより2mmの外側にオフセットされる。

WORK EMOTION CR Kiwami

ワーク エモーション・シーアールキワミ

ピックキャリバーも栄える伝統のツイン5スポーク!

純正ネオバをそのまま使える S660専用サイズで開発!

都会的で洗練されたフォルムを持つホンダS660。センセーショナルなそのデビューから1年余りが経過したいま、自分好みのホイールで足元を彩ってみたいと思い描くユーザーも増えていることだろう。マッチングのいいデザインを履きこなせば見た目の印象を大きく変えることができるし、軽いホイールに交換すればバネ下重量が軽減され、運動性能の向上にも繋がる。数多くのメリットをもたらすスポーツホイールへの交換は、カスタマイズの第一歩にも最適といえるのである。

そこで注目したいのが、ワークが手掛ける"エモーション"シリーズだ。スポーツホイールの代名詞として長年親しまれてきた同ブランドでは、S660についても専用モデルを3種類もラインナップするほど力が入っている。具体的には、奥行き感のあるツインスポークデザインを採用する「エモーションCR極(左)」、シンプルなロングスポークデザインの「エモーションT7R」(左)、細身のスポーク形状が特徴的な「エモーション11R」を設定。多様化するユーザーのニーズに応えている。

これらのモデルはすべて、フロント5.0J×15+45/リア6.5J×16+48というS660専用の前後異径サイズを用意することで、高性能な純正タイヤ(アドバン・ネオバ)をそのまま活かせるようにした。ワークが純正サイズを推奨するのはホンダが考えるS660のベストバランスを崩したくないという思いもあってのこと。ノーマル同様のサイズなので使い勝手もいいし、乗り心地が悪くなる恐れもない。S660のためにデザインされたかのようなビジュアルは、さりげなくドレスアップしたい大人のユーザーにもマッチするだろう。

それでいてエンジンなどの重量物が集中するリヤ側のインセットを2mm外側に出すサイズ設定としているのも、見逃せないポイントといえる。リヤのワイドトレッド化によりスタンスの効いたスタイルはもちろん、コーナリングでの踏ん張りをアップさせることが可能となる。つまり、走りもブラッシュアップしてくれるスポーツホイールというわけだ。

このように計算し尽くされた"エモーション"シリーズだが、強度面についても一切の妥協はない。スポーツホイールに求められる軽さと剛性という要件を両立すべく、採用されたのはキャスト(鋳造)製法だ。これにより強度を引き上げることも可能となり、適度なしなりをもたせることで、衝撃に対する耐久性を確保。末永く愛用できるホイールにも仕上げた。いずれのモデルもホイールセンターを可能な限り小振りにまとめあげたうえで、スポークの贅肉を徹底的に削ぎ落とすことで重量を抑え込む。走りはもちろん燃費という面でもエモーションの軽さは、限られたパワーのS660において武器になるといえそうだ。

最後にコスト面についても触れておきたい。たとえばエモーションT7Rではフロント用が2万円台、リヤ用3万円という良心的なプライス設定。純正ネオバをそのまま流用すれば、かなり手軽に足元のイメチェンが楽める。もはや選ばない理由が見当たらない。ワークのエモーションシリーズは、それほどの魅力に溢れている。

④リヤ用については、ホイールセンターを落とし込んだコンケイブデザインとすることで、ワイド感を強調。迫力のあるスタイルを実現する。⑤スポークは段付きタイプとすることで十分な強度を確保すると同時に、軽量化も果たしている。過酷なドリフト競技であるD1GPでもその性能は実証済みだ。⑥純正ネオバの性能を最大限に引き出すことをテーマに導き出したサイズ設定。タイヤ代を考慮せずに済むので、はじめてのホイールとしても選びやすい。

強度と軽さを両立した EMOTION 11Rも用意!

撮影車両には装着されていなかったが、EMOTION 11Rもまったく同様なコンセプトで設計された。つまり、純正ネオバがそのまま履ける鋳造1ピースモデルということだ。写真のマットチタンのように、エモーションシリーズは豊富なカラーバリエーションを揃えているのも魅力。ボディカラーと合わせて自分好みにアレンジできる。

リムエンドまで伸ばしたツインスポークデザインが特徴的なCR極。センターパートを小振りな設計とすることで、軽カーサイズとは思えない大径感を演出する。開口部が広いのでピックキャリバー化した際に栄えるのもうれしい。装着モデルはホワイト。

WORK EMOTION T7R

ワーク エモーション・ティーセブンアール

洗練されたデザインも魅力!質感が溢れるロングスポーク

●車両協力:カスタムガレージスパイス　〒287-0244　千葉県成田市川上245-984神谷倉庫D2　TEL:0476-36-4104　http://customgaragespice.web.fc2.com/